

総合特別区域の進捗に係る評価
[観光等分野]

令和2年度

千年の草原の継承と創造的活用総合特区

[指定：平成25年9月、認定：平成26年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4+3.6)/2=3.8$

3.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	①草原管理面積 ②野焼き再開牧野数	147%	5
2	牛馬の放牧頭数	-	-
3	①観光入り込み総数 ②阿蘇地域の宿泊客数	-	-
4	あか牛肉料理認定店数	67%	3
5	草原体験利用者数	-	-

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 4$

4.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.6

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3.7+3.8+3.8)/3=3.8$

3.8

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.7

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.8

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.5

- ・あか牛肉料理認定店数が減少している点は残念ではあるが、一方で、認定基準の厳格な運用も重要である。昨年度実施したように、定期的な認定の見直しは必要。
- ・既にエコツーリズムの観点でも先進的に取り組んでおられるが、今後こうした自然コンテンツやその文化保護活動そのものが観光におけるSDGs的価値として一層高まることが想定され、教育コンテンツへの昇華による若年層への啓発と共に、観光インフラ整備やコンテンツ開発には地域外の理解者・協力者を得ていくことが肝要である。
- ・コロナ禍の影響による点は、収束後に向けてどのようなステップで進めていきたいのか、その構築を期待。
- ・阿蘇地域については国内的には一定の認知を有しており、また産品としてあか牛の消費拡大をはかる、といった点は、地域のブランド化をより一層進める重要な取り組みである。しかし、活用面で見ると、草原体験利用者数は目標が数千人、かつ近年については地元小学生を対象としたり、動植物園への出前講座など、地域への来訪者増に大きく寄与するようなものとはなっていない。結果的に、維持の負担のみが増えていくことが想定されることから、活用方策については大胆な見直しを図っても良い。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.5

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(3.8+3.8+3.5 \times 2) \div 4 = 3.7$

3.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。